

全体版の概要 埼玉県四半期経営動向調査(平成21年7～9月期)

I 調査結果の総括

1 県内中小企業の経営動向

総括

県内中小企業の経営状況は、悪化に歯止めがかかりつつあるものの、厳しい状況が続いている。

今後については、改善の動きが見込まれるものの、厳しい状況が続く。

2 県内中小企業の経営者からみた経営動向

(1) アンケート調査結果から

- 経営者の景況感／景況感DIは▲87.4で、前期比1.2ポイント上昇。2期連続で改善。
- 今後の景気見通し／「良い方向に向かう」は減少し、「悪い方向に向かう」も減少した。
- 売上げDI／2期連続で改善。来期も改善する見通し。
- 資金繰りDI／2期連続で改善。来期も改善する見通し。
- 採算DI／2期連続で改善。来期も改善する見通し。
- 設備投資／実施率は2期連続で上昇。来期は低下する見通し。

(2) ヒアリング調査結果から

○経営者の景況感

- 【製造業】 厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられる。
- 【小売業】 悪化している。
- 【情報サービス業】 悪化している。
- 【建設業】 悪化が続き、厳しい状況となっている。

3 特別調査事項「経営上の問題点と行政への要望について」

特別調査事項として、経営上の問題点と行政への要望について、県内中小企業に聞いたところ、次のような結果となった。

- 経営上の問題点は、「売上げの停滞・減少」（79.9%）が最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」（43.3%）、「製品・商品価格の低下」（30.1%）となっている。
- 経営上の課題は、「販路の拡大・営業力の強化・提携先の確保」（59.4%）が最も多く、次いで「経費の削減」（33.9%）、「運転資金・事業資金の確保」（31.4%）となっている。

- 県に望む施策は、「事業展開に必要な資金支援」(34.0%)が最も多く、次いで「売上急減、連鎖倒産防止のための資金繰り支援」(32.3%)、「販路開拓、受注機会の確保支援(ビジネスマッチング)」(28.9%)となっている。

II 調査要領

1 調査の対象

県内中小企業

2 調査の方法

(1)書面によるアンケート調査 (2)業界団体及び個別企業への訪問ヒアリング

3 調査対象期間

平成21年7~9月(調査時期:平成21年9月)

4 調査対象業種及び回答数

① アンケート調査・・・景況感など、特別調査事項

- ・ 製造業： 880企業中、回答数 636 (回答率72.3%)
- ・ 非製造業：1,320企業中、回答数 820 (回答率62.1%)
- 計：2,200企業中、回答数1,456 (回答率66.2%)

※製造業(11業種)：食料品、繊維工業、家具・装備品、パルプ・紙・紙加工品、印刷業、プラスチック製品、鉄鋼業・非鉄金属、金属製品、電気機械器具、輸送用機械器具、一般機械器具

※非製造業(7業種)：建設業、卸売・小売業、飲食店、情報サービス業、運輸業、不動産業、サービス業

② ヒアリング調査

- ・ 製造業： 21企業・組合
- ・ 小売業： 8企業・商店街
- ・ 情報サービス業： 3企業
- ・ 建設業： 3企業
- 計： 35企業等

5 実施機関

埼玉県産業労働部産業労働政策課及び埼玉県企画財政部地域振興センター

III 調査結果概要

1 アンケート調査結果の概況

1 経営者の景況感と今後の景気見通し

景況感DIは▲87.4で2期連続で改善したが、来期も厳しい状況が続く見通し。
業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期連続で改善した。

〈景況感DI：前期 → 当期（前年同期）〉

- ・全体：▲88.6 → ▲87.4（▲78.7）
- ・製造業：▲90.0 → ▲87.8（▲73.3）
- ・非製造業：▲87.6 → ▲87.0（▲83.0）

〈「良い方向に向かう」と回答した企業割合：前期→当期〉

- ・全体：5.9% → 3.5%
- ・製造業：7.0% → 5.1%
- ・非製造業：5.0% → 2.3%

〈「悪い方向に向かう」と回答した企業割合：前期→当期〉

- ・全体：41.4% → 39.7%
- ・製造業：35.1% → 30.9%
- ・非製造業：45.9% → 46.6%

2 売上げについて

売上げDIは▲40.0で2期連続で改善。来期も改善する見通し。
業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期連続で改善した。
来期については、製造業、非製造業ともに、当期の売上げDIを上回る見通しである。

〈売上げDI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲50.6 → ▲40.0（▲42.5） → ▲20.8
- ・製造業：▲49.8 → ▲32.6（▲40.3） → ▲10.0
- ・非製造業：▲51.1 → ▲45.8（▲44.3） → ▲29.1

3 資金繰りについて

資金繰りDIは▲43.2で2期連続で改善。来期も改善する見通し。
業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期連続で改善した。
来期については、製造業、非製造業ともに、当期の資金繰りDIを上回る見通しである。

〈資金繰りDI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲47.3 → ▲43.2（▲42.3） → ▲34.2
- ・製造業：▲50.0 → ▲42.5（▲41.1） → ▲30.1
- ・非製造業：▲45.4 → ▲43.7（▲43.2） → ▲37.5

4 採算について

採算DIは▲51.4で2期連続で改善。来期も改善する見通し。
業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期連続で改善した。

来期については、製造業、非製造業ともに、当期の採算D Iを上回る見通しである。

〈採算D I：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲59.2 → ▲51.4（▲56.8） → ▲35.5
- ・製造業：▲60.7 → ▲48.3（▲57.5） → ▲29.4
- ・非製造業：▲58.1 → ▲53.7（▲56.3） → ▲40.3

5 設備投資の動向について

実施率は16.6%で2期連続で上昇。来期は低下する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期連続で上昇した。

来期については、製造業、非製造業ともに低下する見通しである。

〈設備投資実施率：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：14.0% → 16.6%（19.5%） → 11.3%
- ・製造業：16.9% → 20.2%（25.2%） → 14.5%
- ・非製造業：11.9% → 13.8%（14.9%） → 8.7%

2 ヒアリング調査結果の概況

1 景況感

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| (1) 製造業 | 厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられる |
| (2) 小売業 | 悪化している |
| (3) 情報サービス業 | 悪化している |
| (4) 建設業 | 悪化が続き、厳しい状況となっている |

2 企業の声

「毎月赤字が続いており、好調だった昨年の利益をはき出している状態である」（一般機械）

「まだ不況のレベルだが、昨年の8割程度まで回復しており、だいぶ戻ってきた感がある」（電気機械）

「物の値段は下がり安くなったが売れない、まさにデフレではないか」（スーパー）

「派遣業務で長年取引している取引先から契約解除の話があった。今までからは考えられないことである」
(情報サービス業)

「政権交代で公共事業や補正予算がどうなるか心配である」（建設業）

3 特別調査事項結果の概況 「経営上の問題点と行政への要望について」

(1) 経営上の問題点（複数回答）【主なもの】

「売上げの停滞・減少」 79.9%

「同業者間の競争の激化」	43.3%
「製品・商品化価格の低下」	30.1%
「資金不足・資金繰り難」	28.5%
「経費の上昇」	19.1%
「設備の老朽化」	17.8%

(2) 経営上の課題（複数回答）【主なもの】

「販路の拡大・営業力の強化・提携先の確保」	59.4%
「経費の削減」	33.9%
「運転資金・事業資金の確保」	31.4%
「人材の育成・確保」	31.1%
「新製品・新技術・新サービスの開発」	23.6%
「異分野・新分野への事業展開、業態変更」	16.5%

(3) 県に望む施策（複数回答）【主なもの】

「事業展開に必要な資金支援」	34.0%
「売上急減、連鎖倒産防止のための資金繰り支援」	32.3%
「販路拡大、受注機会の確保支援（ビジネスマッチング）」	28.9%
「特になし」	21.1%
「稼働率低下・操業短縮時の休業補償、雇用維持支援」	19.0%
「人材確保・従業員の能力開発支援」	14.4%

[このページに関するお問い合わせ先]

産業労働部産業労働政策課 長期戦略・企画調査担当 Tel:048-830-3723 Fax:048-830-4818 E-mail:a3710@pref.saitama.lg.jp